

【法人の合同研修に参加して】

7月の海の日、法人の職員が集まって研修を行いました。

今年のテーマはやはり【100TH ANNIVERSARY】（社会福祉法人清香会 祝100周年）です。

関東の職員約180人と福岡から4人が参加し、100周年記念行事について理事長と職員が対談する形で振り返りました。

また2つの記念アートについて、今回のアーティストに取り次いで下さった(株)crack代表の大野陣さんから、制作内容などについてレクチャーがありました。

記念行事は誰もが見たことも経験したこともないような大イベントになり、綿密に計画を立てていたとは言え細かい点で新たに付け加えたり、変更したり…と、準備段階から当日まで、それこそんやわんやの大騒動だったそうです。

当日の様子は…

園の駐車場に野外舞台を仕立て、在園児によるマーチングや和太鼓、卒園生や地域の方のダンスや吹奏楽・バンド演奏、職員による和太鼓・マーチング他。

また、パンプキンジャヤーや以前清香会の職員研修に来て頂いた『ホスピタルクラウン』の大棟耕介さんのパフォーマンスなど、大勢の方の楽しい演技に湧いていました。

一方、竣工式の式典では世界的に有名な和太鼓演奏の上田秀一郎さんやタレントのキンタロー。さんというスペシャルゲストの出演（子ども達との共演は大きな拍手に包まれ、地域がひとつになる瞬間を見せてくれました）もあり、約2万人の小さな豊前市で10%の2000人を超える来場者という、地域の方まで巻き込んだ盛りだくさんのイベントになりました。

(YOU TUBEでもご案内していますので、お時間がある時にどうぞご覧ください。

https://youtu.be/TxwCohjFIX0?si=RBoH_tSIEUj9_660

理事長が、参加した職員にインタビューすると、「100年を祝うイベントに立ち合えて、手探りだったがやりがいもあり、とても良い経験になった。何より福岡の職員・保護者（卒園生）・地域の人達のパワーと温かさが印象的でした」と語っていました。

私も何度か豊前に行きましたが、本当にその温かさ・誠実さは、よくわかります。

また、大野陣さんは「現代では『ART思考』がビジネスの中でもイノベーションを起こす1つだと取り沙汰されている。清香会の理念をARTにする意義は、シンボルがあると人に伝えやすく、見て貰えるという効果がある。理念は目に見えないが、それにこそ価値があり、広く人々に興味を持って貰うためにARTが役立つ」とおっしゃっていました。

それで今回2人のアーティストの作品が清香会100年の象徴として置かれています。

対談には実行委員長（子どもが卒園児で地元で活躍されている方）と、清高りとるばんぷきんずの主任も登壇し、「とにかく皆に楽しんで欲しい、の一点で進めてきた」と苦労も吹き飛ばす話をされていました。

日本でも100年を越す保育園は少なく、地域の皆さんに長く愛されていることに誇りを感じ、これからも繋げていきたいと思う研修会になりました。

(加賀谷)

